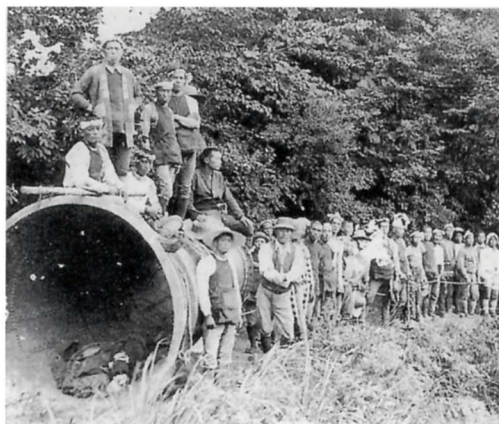
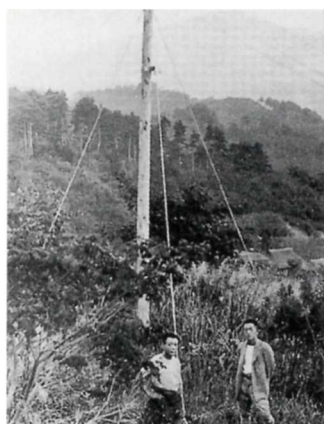


5. 電力をおこす

(1) 電気をひくために



ぶつだいはつでんしょけんせつし ざいうんぼん
 仏台発電所建設資材運搬
 (明治44年ごろ)



でんちゆう
 安達電気電柱立て (大正12年)



仏台発電所



さわがみ ひろせ
 沢上発電所 (旧名、広瀬発電所)



こせがわ
 小瀬川発電所

(2) 電気をひくための努力^{どりよく}

- ・明治41年10月 広瀬発電所ができた
- ・大正 4年 1月 仏台発電所ができた
- ・大正10年10月 二本松電気株式会社の
 小瀬川発電所ができた

明治時代の終わりころまでは、電気はなく、ランプの生活でした。電灯をともすために、みんなで発電所を作り、電柱を立て、電線を遠くの家まで引く工事がたいへんな作業でした。